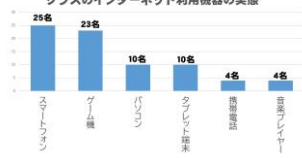


重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【いじめ撲滅宣言】	生徒会を中心に「いじめ撲滅委員会」を立ち上げた。各学年各学級のいじめ撲滅委員が中心となって、各学級で話し合いをもち、「いじめ撲滅スローガン」を作成した。各学級の「いじめ撲滅スローガン」は、6月の生徒総会で放送を通して全校生徒に発表し、生徒総会終了後に学級に掲示した。 11月の黒潮祭（文化祭）では、新型コロナウイルス感染症が流行する中で、いじめもコロナ差別もしないという思いを込めて各学級で新たにスローガンを考えた。 成果 いじめ撲滅スローガンを全学級、学校全体で考えたことで、いじめを許さないという強い思いを全校で共有できた。 課題 各学級で作成したいじめ撲滅スローガンを振り返ったり、学級や学年で生かしていったりする機会を増やしていく必要がある。  
2 実践2 【情報モラル教育】	生徒は、配付されたタブレット端末を所持しているが、スマホ等も含め、インターネットに容易にアクセスできる環境となり、SNS上のトラブルも起きている。肖像権やプライバシーの侵害に当たるケースも見られ、ネット上に情報発信する際の人権意識を高めていく必要がある。 文部科学省作成の「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」を活用し、「SNS等のトラブル 情報の記録性・公開性の重大さ」について考えた。事前にインターネットの利用に関するアンケートを実施し、当事者意識を高めて、情報社会における責任や義務について考えた。 成果 動画教材を通して、ネット上への投稿が自分や他人に及ぼす影響や、投稿によって不利益を被ることがあることを知り、ルールやマナーの重要性を理解した。ワークシートに保護者からの感想をもらうことで、家庭において考える機会をもつことができた。 課題 生徒が利用しているSNSは、アンケート結果から多種多様であることがわかる。その特性についても理解することが必要である。 ◎インターネットを使うとき、どのような機器を使っているか。 クラスのインターネット利用機器の実態  ◎SNSを利用していますか？ 